

**取組の名称** 生徒会主体の全校レクリエーションの実施

12月14日(水) 6校時

**取組の概要** 場所：音更中学校 各普通教室

**【ねらい】**

異学年での交流を通して、心の交流・心の成長・コミュニケーション力の向上を図り、いじめのない学校づくりにつなげる。

**【概要】**

生徒会書記局が主体となり、全校レクリエーションを実施した。オンラインで各教室をつなぎ、校内放送による学級対抗クイズを行うなど、ICTを用いて異学年が交流できるよう工夫した。

**【生徒の感想】**

全校生徒と一緒にレクリエーションをする機会があまりないので、貴重な時間だったし、楽しかった。



【ゲームに参加する生徒の様子】



【司会進行を行う生徒会役員の様子】

**成 果** 学年、学級を問わず交流する場を作ることができたことで、生徒同士のつながりがより強まった。学校生活での緊張の緩和といじめや悩みなどを打ち明けやすい雰囲気をつくる機会にすることができた。

**取組の名称** 「情報モラル教室」の開催

11月15日(火) 3～6校時

**取組の概要** 場所：下音更中学校体育館

**【ねらい】**

SNS等のインターネットを媒介としたトラブルについて考えることを通して、生徒の情報モラルの確立を図る。

**【概要】**

講師を招き、全校生徒を対象にインターネットを媒介としたコミュニケーショントラブルを未然に防止するための学習会を実施した。生徒たちはSNS上に何気なく書き込んだ文章や掲載した画像がきっかけとなり、思いがけないトラブルに巻き込まれたり、人を傷つけたりし、結果としていじめへと発展してしまう可能性があることを学んだ。

**【生徒の感想】**

- ・ネット上でのいじめが増えていることを知り、使い方を気を付けようと思った。
- ・心に傷を負い、自殺にまで至ってしまう人もいることを知った。絶対にいじめはしてはいけない。



【「情報モラル教室」の様子】

**成 果** いじめを含むネットトラブルの危険性について考えが深まったという感想が多く挙がり、相手のことを考えて適切にICTを活用しようとする態度の育成が図られた。

**取組の名称** 生徒会主体の「いじめ標語」「ありがとうの葉」の取組

12月13日(火)～12月20日(火)

**取組の概要** 場所：駒場中学校各学級

**【ねらい】**

「いじめ標語」「ありがとうの葉」の活動を通して、いじめを絶対に許さないという気持ちや、生徒同士のつながりを深める。

**【概要】**

全生徒が「いじめ標語」に取り組み、書記局が各学年3作品を選考し、生徒会便りに掲載するとともに、校内掲示を行った。

「ありがとうの葉」は友だちに感謝を伝える出来事に触れた折に自由にカードに記入し、廊下に掲示した。

**【生徒の感想】**

日常の友達の行動に対し、普段は言葉でなかなか表せなかった感謝の気持ちを素直に表すことができた。



【いじめ標語】



【ありがとうの葉】

**成 果** 「いじめ標語」の取組では、生徒会の呼びかけや掲示物を通していじめ根絶への関心を高めることができた。また、「ありがとうの葉」の活動によって感謝の心や生徒同士の絆を深めることができた。

**取組の名称** 「RYOKUNAN いじめ撲滅サミット」

12月16日(金) 6校時

**取組の概要** 場所：緑南中学校生徒会室・各教室

**【ねらい】**

生徒がいじめに対する問題点や、いじめ根絶のために何をしたらいいのかについて自分達で考えることを通して、いじめは絶対に許さないという態度の育成を図る。

**【概要】**

生徒会書記局が中心となり、「RYOKUNAN いじめ撲滅サミット」をオンラインで開催した。学級ごとに本校の行動宣言を振り返り、実現のための具体策を話し合った。また、学級で重点的に取り組む「行動宣言」を決定し、最後に各学級の意見を全体で共有した。

**【生徒の感想】**

全学級配信の実施により生徒一人一人の意識が高まり、いじめ問題を身近な問題として受け止めることができた。



【「いじめ撲滅サミット」の様子】



【学級で話し合う様子】

**成 果** 行動宣言として、「相手の気持ちを考えて、行動します」、「自分がされて・言われて嫌なことはしません」、「傍観者にならずに、しっかりと注意します」などが掲げられ、いじめは絶対に許さない態度の育成が図られた。



**取組の名称** 明るい学校生活を送るための取組

通年

**取組の概要** 場所：共栄中学校

**【ねらい】**

笑顔で明るく学校生活を送るための取組について、生徒が主体的に考える活動を通して、居場所づくりや絆づくりを推進し、いじめを生まない風土の醸成を図る。

**【概要】**

生徒会書記局が中心となり、毎週月曜・木曜の登校時、生徒玄関で生徒に対し「あいさつ運動」を実施し、活気ある挨拶で心を通わせた。

また、クリスマスなどの季節のイベントに合わせた飾り付けや掲示物を作成し、明るい気持ちになる環境づくりに取り組んだ。

**【生徒の感想】**

飾り付けを見て、明るい気持ちになり、多くの人と感想を伝えるなど交流をもつことができた。



【あいさつ運動の様子】



【飾り付けの様子】

**成 果** 積極的に挨拶したり、他者と交流したりする姿が見られ、学校をよりよくしようとする態度の育成が図れた。

**取組の名称** 生徒会主体の「いじめ撲滅きずな集会」

12月9日（金）5校時

**取組の概要** 場所：土幌町中央中学校体育館

**【ねらい】**

他者を認め合い、感謝や思いやりの気持ちをもって学級・学校生活を送ることについて話し合うことで、いじめは絶対許さない態度の育成を図る。

**【概要】**

生徒会書記局が中心となり、各学級で、いじめを生まない学級づくりや相手の気持ちを大切にすることについて話し合うとともに、「いじめ撲滅目標」を作成した。

さらに、「全校いじめ撲滅きずな集会」を開催し、書記局によるいじめ根絶に向けた「SSS（土幌中央中 幸せ スマイル）宣言」や各学級の目標を発表した。

**【生徒の感想】**

いじめのない学級にするために、各学級の目標の下、一人一人が気を付けないといけないと思った。



【SSS宣言発表の様子】



【各学級の目標を発表する様子】

**成 果** 生徒同士で声を掛け合い、コミュニケーションを取り合う行動が増えるなど、いじめ問題を自分事として捉えて考える姿勢が養われた。

**取組の名称** 「思いやり標語」の取組  
7月19日(火)～8月19日(金)  
**取組の概要** 場所：上土幌中学校

【ねらい】  
生徒会が、よりよい人間関係づくりを呼びかけるメッセージを募集することを通して、いじめの根絶と思いやりをもって人と接する社会の実現に向けた意識の向上を図る。

【概要】  
生徒会書記局が、いじめやネットトラブルの根絶を目指し、全校生徒からメッセージを募集した。また、各賞を選定し、入賞作品を表彰するとともに、啓発活動として校内に掲示した。

【生徒の感想】  
人がそれぞれ違うことは当たり前だから、いじめていい理由にはならないという意識をもって生活したい。



【表彰式の様子】



【入賞作品・校内掲示】

**成 果** 生徒のメッセージには、いじめの根絶やインターネットの適切な利用に関する記述が見られ、よりよい人間関係を構築し、「いじめはどんな理由があっても絶対に許さない」という意識を高めることができた。

**取組の名称** 「いじめ project」  
12月7日(水) 5校時  
**取組の概要** 場所：鹿追中学校体育館

【ねらい】  
いじめの傍観者にならず、どのような行動ができるかについて、全校生徒で考える活動を通して、いじめは絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】  
生徒会書記局が中心となり、いじめの場面を劇化して提示し、いじめを目にした時にすべき行動について全校で話し合う活動を行った。全校生徒を異学年でグループ編成し、多様な考えに触れる機会とするとともに、実施後、個人の感想カードを玄関前に掲示した。

【生徒の感想】  
もし、いじめが起こった時は、勇気を持ち、周りで見ている人がいじめを止めることが大切だと感じた。



【書記局による劇の様子】



【異学年グループで話し合う様子】

**成 果** 集会実施後のアンケートでは、「いじめに対抗できる学級づくり・仲間づくりが大切だ」という意見が多く見られた。いじめを当事者だけの問題にせず、傍観者にならず、積極的に仲裁や通報を行うことの大切さに気づき、考えを深めていた。



**取組の名称** 生徒会主体「いじめ撲滅討論会」の取組

12月16日(金) 4校時

**取組の概要** 所：瓜幕中学校体育館

【ねらい】

よりよい学校づくりについて生徒が主体的に考え、話し合う活動を通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、「よりよい学校づくりはいじめを起こさない」という視点で全校生徒が話し合う「いじめ撲滅討論会」を開催した。全校生徒を8グループに分け、①瓜中の好きなおところ、②瓜中をよりよくするために瓜中生は何をすべきかについて、付箋に自分の意見を記入しながら話し合った。

【生徒の感想】

学校よさに気づき、皆で共有することができた。これからも明るく楽しいいじめのない学校にしたい。



【生徒会が司会を担当する様子】



【グループ毎に発表する様子】

**成 果**

生徒の意見から、自分たちの学校や取組のよさへの気づきが見られるとともに、これからもいじめを生まない学校づくりを心掛けていく意識の高まりが見られた。

**取組の名称** 生徒会が主体となった「あいさつ運動」や「全校交流企画」の取組

「あいさつ運動」毎週火・木曜日「全校生徒交流企画」10月1日(土)

**取組の概要** 所：新得中学校

【ねらい】

生徒会が主体となった「あいさつ運動」や、「全校交流企画」を通して、心と心のつながりを持ち相手を思いやる心を育てる。

【概要】

生徒会書記局が主体となり、「あいさつ運動」の取組により、皆が元気で気持ちのよい挨拶を交わし合える学校づくりを目指し取り組んだ。

また、学年の壁を取り払い、全校生徒が心通い合うつながりをもつことができるよう、クイズ大会や「新中生の主張」などの企画により、全校生徒で楽しむことができ、笑顔で過ごせる学校づくりに取り組んだ。

【生徒の感想】

相手のことを考えながら行動することで、学年の壁を越えたつながりをもつことができた。これを機会に、積極的にたくさんの人と交流していきたい。



【全校交流企画の様子】

**成 果**

挨拶の意義を理解し、全校生徒が自然に挨拶を交わす習慣が身に付いている。様々な取組から相手を思いやる気持ちをもって生活することの大切さを理解し、いじめのない学校づくりを全校生徒が意識して生活するようになった。

**取組の名称** 「いじめ防止・思いやり感謝カード」の掲示

12月12日(月)～23日(金)

**取組の概要** 場所：屈足中学校生徒玄関前

**【ねらい】**

「いじめ防止・感謝カード」の活動を通して、生徒同士の考えを交流し、いじめについての考えを深めるとともに、全校であたたかい雰囲気醸成する。

**【概要】**

生徒会役員が中心となり、「いじめ防止・思いやり感謝カード」の作成を呼び掛けた。生徒一人一人がいじめについての考えと、他者に伝えたい感謝の気持ちを記入し、生徒会役員がまとめ、玄関前に掲示した。生徒のみならず、地域の方々にもカードの記入を依頼し、掲示した。

**【生徒の感想】**

全校生徒だけでなく、地域の方のメッセージの掲示もあって、あたたかい気持ちになった。



【カードを掲示する生徒会の様子】



【カードを見る生徒の様子】

**成 果**

思いを可視化するとともに、地域の方の言葉も目にする事で、周りの人に支えられていることを生徒が実感することができた。また、多様ないじめについての考えに触れることにより、いじめは絶対に許さないという気運が高まった。

**取組の名称** 児童生徒会主催のクリスマス集会

12月22日(木) 昼休み

**取組の概要** 場所：富村牛小中学校体育館

**【ねらい】**

全校の児童生徒が楽しく交流する活動を行い、どの学年の児童生徒も楽しめる内容を主体的に考えたり、お互いの気持ちを思いやったりすることを通して、いじめを生まない環境を作る。

**【概要】**

児童生徒会書記局が中心となり、全校児童生徒で遊ぶクリスマス集会やワクワク集会を開催した。集会の中で行った古今東西ゲームでは、児童生徒と教職員が輪になり、お題に合った言葉を言って楽しんだ。

**【児童生徒の感想】**

全校の児童生徒で楽しく活動することができた。これからもみんなで仲よく過ごしていきたい。



【古今東西ゲームの様子】



【ワクワクタイムの様子】

**成 果**

児童生徒から「みんなで遊ぶことが楽しい」という感想が多く挙がり、全校児童生徒で活動することが、いじめを起こさないための居場所づくりや絆づくりにつながった。



**取組の名称** 生徒会主体の「いじめ根絶集会」の取組

10月21日（金）6校時

**取組の概要** 場所：清水中学校体育館

**【ねらい】**

生徒が主体的にいじめについて考えることを通して、よりよい人間関係、いじめを絶対許さない姿勢、思いやりをもって人と接する風土の醸成を図る。

**【概要】**

生徒会書記局が中心となり、「いじめ根絶集会」を開催し、「絆づくりメッセージコンクール」で生徒一人一人が考えたメッセージを他の生徒と交流した。さらに、交流したことを全体で発表するとともに、「いじめ撲滅宣言」により、いじめに対する共通理解を図った。

**【生徒の感想】**

いじめに対して全員が同じ認識をもつことが大切だということを確認できた。

**成 果** いじめ根絶集会実施後のアンケートにおいて、「いじめの被害にあった際、一人で抱えず、先生や友人、親に相談することができる」などの記述があり、いじめをなくそうとする学校全体の気運が高まった。

絆づくりメッセージコンクール！

いじめやネットトラブルの根絶を目指して全校生徒でメッセージを考えましょう！  
【条件】  
○20字程度のメッセージ（五七五でも可）  
【内容】  
○好ましい人間関係づくりに関すること  
○友達との助け合いに関すること  
○いじめの根絶や、いじめを受けている友達を助けることに関すること  
○インターネットへの誹謗中傷などの書き込みの禁止に関すること。  
○インターネット上の有害情報やSNS上の個人情報発信に伴う被害の防止に関すること。 など  
(例) 大丈夫 人と違って 当たり前  
絆作りについて考えてみましょう！

絆づくりメッセージコンク...  
Google フォーム

【絆づくりメッセージの募集用紙】



【「いじめ撲滅宣言」の様子】

**取組の名称** 生徒会主体の「いじめ根絶行動宣言」の取組

12月13日（火）～21日（水）

**取組の概要** 場所：御影中学校校内

**【ねらい】**

生徒会主体の「いじめ根絶行動宣言」の取組を通して、全校生徒がいじめに対して主体的に考え、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

**【概要】**

生徒会書記局が中心となり、いじめ根絶に向けた具体的な取組を考えて行動宣言を作成した。作成した行動宣言は、校内放送で全校生徒に周知を図るとともに、宣言を模造紙に貼り、年間を通して掲示した。

**【生徒の感想】**

自分も友人も大切な存在であることに気が付いた。普段から思いやりをもって周囲に接することを意識して生活したい。

**成 果** 生徒会による啓発活動の継続や全校放送による行動宣言を行ったことにより、学校生活の中で、相手を尊重する意識、気遣いの言動等が見られるようになるなど、望ましい人間関係の構築が図られ、いじめを許さない態度を育む基盤が築かれた。



【行動宣言の掲示】



【校内放送による行動宣言の様子】

**取組の名称** 生徒会主体の「いじめ撲滅集会」の取組

12月14日(水) 5校時

**取組の概要** 場所：芽室中学校各教室

**【ねらい】**

「いじめ撲滅集会」において、いじめは許されるものではないという認識を高める機会とし、いじめのない学校にしようとする態度を育成する。

**【概要】**

いじめに関する劇を録画したものを上映し、全校生徒への意識喚起を行った後、生徒一人一人が、いじめ撲滅に向けて自分ができていることを付箋に書き、生徒玄関前に「INGパネル」(いじめのない学校)として掲示し、全校で共有を図った。

**【生徒の感想】**

現実味のある劇や映像で、胸が詰まる思いがした。傍観者にならずに声を上げられるようになりたい。



【いじめ撲滅集会の動画】



【INGパネルの様子】

**成 果** INGパネルに書かれた意見には、「相手が嫌だと感じたらそれはいじめ。生活を見直す必要があると思った。」などの記述があり、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

**取組の名称** 生徒会主体の「いじめ根絶を目指す全校集会」の取組

11月28日(月) 6校時

**取組の概要** 場所：上美生中学校体育館

**【ねらい】**

いじめのない学校づくりに向け、全校生徒が親睦を深める活動を設定することにより、生徒同士の温かな人間関係を築こうとする態度の育成を図る。

**【概要】**

生徒会執行部が中心となり、全校生徒が親睦を深めるレクリエーションや生徒会執行部から出題されるSDGsゲーム等、異学年と交流したり、仲間と協働的に問題を解決したりする活動を行った。

**【生徒の感想】**

全校生徒が楽しみながら取り組むことができた。お互いが相手のことを第一に考え、笑顔や丁寧な言葉を交わすことを目指していきたい。



【全校集会の様子】



【SDGsゲームの様子】

**成 果** 全校生徒 20 名がお互いの存在を大切に、笑顔や丁寧な言葉遣いで接する姿が多く見られ、良好な関係づくりについての生徒の理解が深まった。



## 芽室町立芽室西中学校

校長名 椿 原 雅 章 全校生徒数135名

### 取組の名称 生徒会主体の「いじめ根絶集会」の取組

12月22日（木）5校時

### 取組の概要

場所：芽室西中学校体育館

#### 【ねらい】

「いじめ根絶集会」において、全校生徒がいじめ根絶に向けた当事者意識をもち、主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さないという態度の育成を図る。

#### 【概要】

生徒会本部が中心となり、全学級でいじめ根絶に向けた話し合いを進めた。意見を記入した付箋を模造紙に貼った後、議論を深め、学級代表が意見をまとめた。根絶集会のなかで、各学級の意見を発表した。

#### 【生徒の感想】

いじめで困っている人がいれば、勇気を出して止めていきたい。いじめ根絶に向けて一人ひとりが意識を高めるよい機会となった。



【学級活動の様子】



【根絶集会の様子】

### 成 果

「いじめ根絶集会」の実施後のアンケートでは、「何気ない言動がいじめにつながっているかもしれないので気をつけたい」等の記述があり、いじめ根絶に対する当事者意識の高まりが見られた。

## 中札内村立中札内中学校

校長名 山 下 英 男 全校生徒数117名

### 取組の名称 生徒会主体の「全校絆レク」の取組

11月24日（木）・25日（金）昼休み

### 取組の概要

場所：中札内中学校

#### 【ねらい】

「中札内村いじめ根絶子ども会議」の内容を踏まえ、生徒がいじめに対して主体的に考え、取組を推進することを通して、いじめは絶対に許さない態度の育成を図る。

#### 【概要】

生徒会書記局が「全校絆レク」を企画し、「中札内村いじめ根絶子ども会議」の内容を全校生徒へ報告し共有するとともに、クイズ等を通して楽しみながら、異学年の交流を深め、生徒相互の思いやりある人間関係の構築と絆を深める取組を実施した。

#### 【生徒の感想】

クイズやゲームで交流を深めることで、楽しい会話も増え、明るい学校生活を送ることができる雰囲気になった。



【村内いじめ根絶子ども会議の様子】



【「全校絆レク」の様子】

### 成 果

校内の「いじめ根絶宣言」との繋がりを全校生徒が意識して主体的な取組を推進したことにより、いじめをなくそうとする学校全体の気運が高まった。